

みゅーじあむ・船橋

平成29年3月

Funabashi Historical Museum & Tobinodai Historic Site Park Museum News
みゅーじあむ
Vol.8
船橋



第8号

博物館ニュース	[2]
船橋の明治・大正・昭和 高根台団地の大きな S 字カーブ	[3-5]
博物館で学ぼう！ 飛ノ台史跡公園博物館の「博学連携」事業	[6-7]
インフォメーション	[8]

博物館ニュース

この項では、郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館の企画展や事業について、ご紹介しています。今回は、平成 28 年度に実施した講演会と企画展をご紹介します。

講演会

郷土資料館と飛ノ台史跡公園博物館では、市民の皆様へ、船橋の地域史や考古学等の最新の研究成果に触れていただく機会を提供するため、講演会を実施しています。平成 28 年度は、郷土資料館の主催で、6 月に地域史講座、11 月に文化講演会を実施しました。飛ノ台史跡公園博物館の主催では、11 月に縄文大学、1 月に考古学講座を実施しました。

これらの講演会のうち、地域史講座と文化講演会は薬円台公民館、考古学講座は海神公民館を会場として、いずれも土曜日の午後に、それぞれの公民館と共催で実施しています。

また、縄文大学は、金曜日の午後 6 時 30 分から、市民文化創造館（きららホール）を会場として実施しています。仕事帰りの方や、20 代・30 代の方のご参加もあり、アンケートでは、歴史学を専攻しているという大学生から、「なかなか自分の出身地の船橋の考古についての話を聞くことはなかったのでとてもためになりました」という感想をいただきました。

企画展「くらしの道具展 一道具が語るくらしの歴史―」

平成 29 年 1 月 14 日(土)～2 月 12 日(日)の会期中、飛ノ台史跡公園博物館の 1 階ギャラリーを会場として、郷土資料館が所蔵している民具資料を展示しました。

この企画展は、小学校 3・4 年生の社会科で学習する「むかしの道具とくらし」に合わせて開催しているもので、今回は、主に昭和 30 年代までの生活用具や暖房具を展示しました。

今回の企画展は、資料を見るだけでなく、洗濯板をさわったり、黒電話のダイヤルを回したりできる、体験型の展示になるように工夫しました。会期中には、小学校 3 年生の団体見学もあり、小学生たちは、学芸員の説明を聞きながら、展示を楽しそうに見学していました。

企画展会期中にいただいたアンケートには、小学生からの「ちょうど授業でやっているのとてもためになりました」、「さわれる所がよかった」といった感想や、一般の来館者からの「昔を思い出しなつかしかった」といった感想がありました。

皆様からお寄せいただくアンケートからは、講演会や企画展をより良いものにするためのヒントを得ることができます。今後も、市民の皆様のご関心に応えられるような企画を考えてまいりますので、ぜひご参加ください。



考古学講座（海神公民館）



小学校 3 年生の団体見学

～ 船橋の明治・大正・昭和 ～

高根台団地の大きな S 字カーブ

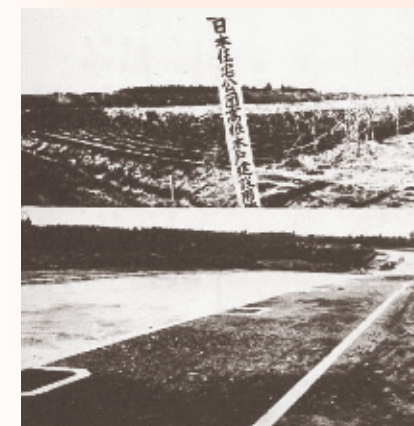
1 高根台団地完成



高根台団地は、当時の日本住宅公団が土地の取得、建設を進め、船橋市内にできた 2 番目の団地です。昭和 36 年（1961）に入居を始めました。上の写真は完成を記念して発行された絵葉書です。裏面に「我が団地のコマーシャル」という紹介文が載っています。

清らかな空気と豊かな太陽のもとに自然の木立や起伏を生かした広大な団地風景が車窓いっぱい飛び込んで参ります。こゝが我らの町高根台団地です。団地面積 730,000㎡、東西 2.6km にわたり各種賃貸住宅 293 棟ー 4650 戸、他に分譲住宅 220 戸、店舗 70 戸、小中学校 3、幼稚園、保育園、銀行、郵便局、テニス、バレーコート、公園などの遊戯施設もあります。

2 団地建設前



昭和 34 年 6 月号「船橋市広報」に紹介された高根公団建設風景。

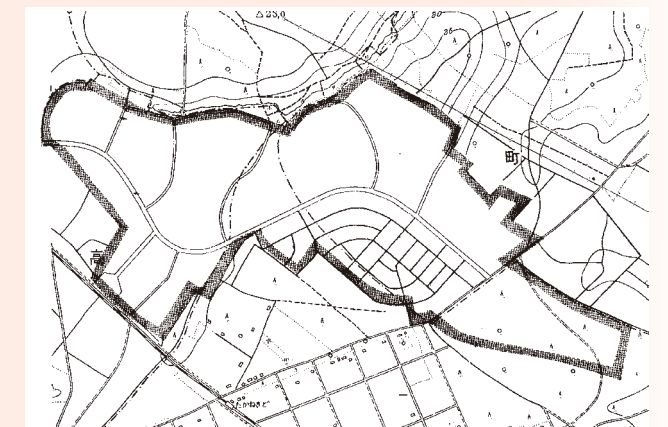
建設当初は「日本住宅公団高根木戸」と称されていました。高根町、習志野町、古和釜町の 3 町にまたがる地域が建設用地となりました。



上の図は、昭和 30 年（1955）の地図に、「高根木戸区画整理事業区域」（62.1ha）の範囲を示したものです。建設前の土地の様子がわかります。

地図左上に木戸川の谷があります。さらにそこへ南からつながる支谷が東と西から一つずつ入り込んでいます。特に西側の谷は、その南側にある新京成線の近くまで大きく張り出しています。この高低差ある地形をもとにした街区設計が、先に紹介したコマーシャルにいうように「自然の木立や起伏を生かした」独特の風景を生み出すことになりました。

3 団地建設



整地直後の地図を見てみます。谷を避けるように大きく S 字に湾曲した幹線道路へ谷筋に沿うように延びてきた道が合流しています。これらの道によって区切られた区域に住宅、公園、学校、保存林等が配置されました。



昭和 36 年（1961）の風景（「船橋のあゆみ」平成 16 年）

西側区域はほぼ完成しています。昭和 36 年 8 月、新京成電鉄「高根公団駅」が開業し、第一期入居を待つまでとなっています。未だ周囲には畑や林、未開発地区が広がり、「陸の孤島」とも呼ばれました。

4 団地設計者津端修一

昭和 30 年、住宅問題を解決するために日本住宅公団が創設されました。「もはや戦後ではない」といわれた昭和 30 年代は、人々が新しいライフスタイルを求める時期に来ていました。東京郊外の、阿佐ヶ谷（現杉並区）、多摩平（現日野市）、ひばりヶ丘（現西東京市、東久留米市）等に公団住宅が建設されました。千葉県では、金ヶ作（現常盤平団地）、前原、高根木戸（現高根台団地）等と続きます。

昭和 30 年代に提案されたのは、平均専用床面積 39㎡、2DK の間取りが中心となる住宅タイプでした。また容積率⁽¹⁾の平均は 50%です。昭和 40 年代になると容積率はその倍になります。ちなみに昭和 60 年代では 300%を超えています。公団発足当時の団地設計がいかに余裕のあったものであったかがわかります。

高根台団地の全体設計に深く関わっていたのは津端修一氏です。氏は東京大学建築学科を卒業し、アントニン・レーモンド⁽²⁾建築事務所等に勤めた後、発足当時の住宅公団に入ります。公団の関東支所に籍を置いた氏は、阿佐ヶ谷住宅や多摩平の団地設計に関わりました。

中でも阿佐ヶ谷住宅は、先進的な設計としてよく知られています。樹木豊富な敷地内に、前川國男⁽³⁾



阿佐ヶ谷住宅テラスハウス群
UR 都市機構提供

設計の低層傾斜屋根型テラスハウス（現存せず）を曲線道路に即して配置してあります。これら創設期の住宅公団での仕事を通して、津端氏は次第に「風土派」⁽⁴⁾と呼ばれる設計手法の第一人者として評されるようになります。

- (1)敷地面積に対する建築延べ床面積の割合
- (2)1888 年 -1976 年 チェコ出身の建築家。フランク・ロイド・ライトの来日に同行し、初代帝国ホテル建設に携わった。その後日本に建築事務所を開設し、多くの建築作品を残す。日本人建築家にも大きな影響を与えた。
- (3)1905 年 -1986 年 ル・コルビュジエ、アントニン・レーモンドのもとで学び、戦後の日本建築界をリードした。
- (4)「昭和 30 年代の設計思想」（『昭和 30 年代団地の設計を振り返る調査研究』（住都公団東京支社改善業務部、1998））

5 津端氏が語る高根台団地

設計の基本にあったもの

初期の公団住宅団地は、① 3 ～ 5 階建ての中層住宅、② 2 階建てのテラスハウス、③ 4 ～ 5 階建てのポイントハウス（スターハウス）、の 3 種の集合住宅の組合せで計画されていました。これらを敷地に合わせて配置していくことが設計者の大きなテーマです。

津端氏は、公団の区画整理事業にふれながらこう述べています。「多摩平団地（1955 年～）から始め、その次に高根台団地（1958 年～）を担当することになるのです。そして、S 字型にカーブする幹線道路の北側に、公団住宅用地を集約する土地利用の基本方針をまとめて、高根台の〈団地つき・区画整理事業〉がスタートすることになりました。』⁽⁵⁾

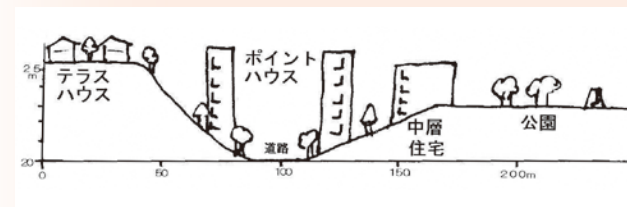
多摩平団地の時は、平坦土地造成がなされた後で設計を始めました。しかし、高根台では「起伏量の多い所こそ、団地用地にあてて欲しい」、それは「宅地は平坦なものといった画一的な考え方から脱して、団地用地は地形の高低を利用し、樹木や景観と共存して、いまままでにない豊かな空間をつくりたい」⁽⁶⁾ からだと述べています。

コモンに託すおもい

氏は、高根台でなによりも「コモン」の実現を目指していました。「コモン」とは「個人の庭でもなく、公共の公園でもない、いってみれば市民たちが初めて手にする“得体の知れない緑のスペース”です」⁽⁷⁾ と述べています。



「第一テラスハウス」（絵葉書より）
手前にテラスハウス、右にポイントハウス、奥に中層住宅



その理念どおり高根台団地は、地形を生かして 3 種類の建物の配置を工夫しています。起伏のある敷地内には 3 つの高台となった尾根部分があります。そこに計 123 棟、650 戸のテラスハウスを集約して配置します。斜面部分にはポイントハウスを建てます。そうすることによって緑地を確保し、太陽光をより多く取り入れることができるというわけです。

団地敷地を東西の断面で見えてみると、その考えがよくわかります。起伏や曲線道路に合わせた配置により、どの建物からも目線の空間が確保され、その先に誰もが集える公園や氏が言うコモンの緑地が広がることになるわけです。



現在も残るテラスハウス（上）
中層住宅（右上）
ポイントハウス（右下）

6 その後の津端氏

氏の建築に関わる意識の根底には、ル・コルビュジエ⁽⁸⁾の「すべての部屋に太陽と緑の空気を」というスローガンがありました。また、レーモンドが設計した透明感あふれる共同住宅の建築現場を日本で経験したことが心の支えとなったといえます⁽⁹⁾。

氏は、公団の職を辞した後、広島大学の教授などを歴任します。その後は自ら設計した愛知県春日井市の高蔵寺ニュータウン内に、レーモンドの自邸を再現した自宅を建て、晴耕雨読の生活を送ります。また、裏山を緑の山にする活動などをとおして「コモン」を地域に展開していきました。平成 27 年 6 月、緑に囲まれた自宅で永眠されました。まさに「風土派」を地で行くような生き方でした。



自邸内で英子夫人とともに
映画『人生フルーツ』より 東海テレビ放送・東風提供

- (5)・(6)・(7)・(9) 津端氏による講演「高根台団地の誕生、その時代と 40 年」（『わくわくライフ探求講座 高根台をモデルにひと・くらし・まちの再生を考える』（2004）所収の講演録より）
- (8)1887 年 -1965 年。スイスで生まれ、フランスで主に活躍した建築家。「近代建築の五原則」を示し建築界の巨匠とされる。2016 年、東京・上野にある国立西洋美術館など、7 か国の 17 施設が「ル・コルビュジエの建築作品」として世界文化遺産に登録された。

（Y.M）

飛ノ台史跡公園博物館の「博学連携」事業

「博学連携」とは、博物館と学校が連携・協力して子供の教育に当たる取り組みのことです。

生涯にわたって学び続ける意欲や態度の基礎を養うという生涯学習の観点からも、博物館の役割を理解し、効果的に利活用する能力や態度を育てることが求められています。

飛ノ台史跡公園博物館には、縄文時代のことに詳しい学芸員などの専門家がいます。また、実際に「見て学ぶ」ことができる本物の教材があります。そして、「見て学ぶ」だけではなく実際に遺物に触れて「さわって体験する」活動も準備しています。

ここでは、飛ノ台史跡公園博物館で行っている、学校との連携事業について紹介していきます。

【博物館見学】

おもに4月、5月は、社会の授業で歴史を学習する6年生が、博物館の見学に来ます。内容は、

- 展示見学…史跡公園（遺跡の上に土を盛って保存し、その上に発掘の様子が分かる模型を展示）、2階展示室（飛ノ台貝塚から見つかった土器や貝、竪穴式住居の復元などを展示）、3階展示室（船橋市内に約200ある遺跡からの出土品を展示）を、職員やボランティアの方々の解説を聞きながら見学します。
- 縄文体験ワークショップ…粘土で勾玉やミニ土器などを作ります。
- 体験活動…どんぐりを石皿で割る、黒曜石で紙を切る、編布（あんぎん：縄文時代に行われた布の織り方）で作られた縄文服を着るなどの体験ができます。

などです。子供たちには、本館で作成した「縄文学習ノート」を事前に配布して、当日、見学時に活用していただいています。利用された先生方からは、「本物に触れ（土器の）大きさを知り、学習が深まりました」、「子どもたちは船橋で土器が出土したり、貝塚が発見されたりしたことにおどろいていました」などの感想をいただきました。やはり本物の

教材に触れることは、子供たちにとって、何物にもかえがたい体験になるのだと思います。

【職場体験】

11月～1月にかけて、中学生（おもに2年生）が職場体験学習におとずれます。平成28年度は12校を受け入れました。

おもな体験内容としては、

- ワークショップ体験 … 通常実施しているワークショップを体験してもらいます。
- 環境整備活動 … おもに史跡公園の環境整備を行います。
- 展示解説体験 … 生徒同士で模擬解説を行います。解説するコーナーを決め、下調べをして、原稿を作成して解説します。

などがあります。



生徒の感想には、「お客さんにあいさつをするのが、初めはなかなかできなかった」、「展示解説が緊張した」、「ワークショップがとても楽しかった」、「縄文時代の人々の生活について理解が深まった」といったものがありました。

今、学校で推進されている「キャリア教育」（社会人、職業人として自立するために必要な能力や態度、意欲などを形成・向上させるための教育のこと）の一環として、今後もさらに力を入れていきたい事業です。

【海神中学校・飛ノ台史跡公園博物館合同展】

平成23年度より、隣接している海神中学校と、美術科の授業を中心に連携しています。そして、毎年度末、その成果を発表するための合同展「日本の美を今に活かした作品展」を開催しています。



各学年とも、美術の時間に以下の取り組みを行い、作品制作に取り組みました。

- 1年生 … 縄文土器の形や文様の鑑賞から発展した現代的な陶器を制作
- 2年生 … 土器の文様をデザインした型染めの布巾を制作
- 3年生 … 土器片の拓本体験を行い、そこから発想を広げ、一つの世界にまとめたボックスアートを制作



会期中は、土・日曜日を中心に、海神中学校美術部員が作品の展示解説を行っています。来館者からは、「日本の自然や様々な伝統が感じられました」、「一人ひとり自分の伝えたいことが感じられる、素晴らしい作品展です」、「美術部員の説明がとてもよく勉強されていて感動しました」などの感想をいただきました。

飛ノ台史跡公園博物館が海神中学校と隣接しているという立地条件を生かして、美術科の授業において相互に連携・協力し、その成果の発表の場として合同展を開催できるということは、まさに博学連携の象徴的な事業だと思っています。

【移動博物館】

総合教育センターで行われる、「教育フェスティバル」（平成28年11月12日、13日の2日間）に出展させていただきました。当日は、飛ノ台史跡公園博物館の概要説明やジオラマ展示、ワークショップ体験などを行い、両日とも多くの方々にご来場いただきました。特に、ワークショップは、大盛況のうちに終了することができました。

また、依頼のあった小学校（2校）へ出向き、出前授業を行いました。その際には、小学校の近くの遺跡から出土した土器などを、当館の収蔵庫から持参し、実際に子供たちが手で持つ体験もしました。また、博物館職員が説明をしながら、実際に子供たちや保護者の方々と、小学校の近くの史跡を見るフィールドワークも行いました。

今後も、より充実した「博学連携」事業ができるようにしていきたいと考えています。（M.T）



協力：船橋市華道連盟

土器の欠けた部分に樹脂をつめて、展示のために復元します。



表紙写真の作業

郷土資料館 (平成30年1月〔予定〕まで休館中)

郷土資料館の事務室は、現在、飛ノ台史跡公園博物館に移転しています。資料閲覧・パネル借用・市内の歴史等に関するお問い合わせは、月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）の午前9時～午後5時の間に、TEL047-465-9680までご連絡ください。

※ 薬円台公園内のSL運転席は、毎週日曜日（年末年始・雨天時を除く）の午前10時～午後4時に公開しています。

飛ノ台史跡公園博物館

飛ノ台史跡公園博物館では、毎週土曜日・日曜日・祝日の他、小・中学校の夏休み・冬休み・春休み期間中に、小学校4年生から大人向けのワークショップを実施しています。

※ 詳細は毎月1日号の『広報ふなばし』でお知らせいたします。

〔平成29年9月までの行事予定〕

期 日	行 事 名	主 催	会 場
3月31日(金)～ 4月23日(日)	写真展「西部地区の今昔」	郷土資料館 西図書館	西図書館 (船橋市西船1-20-50)
5月20日(土)	歴史見学会 「船橋の歴史散歩11 大穴から海老ヶ作へ」	郷土資料館	大穴北・大穴南周辺の史跡など
5月18日(木) 5月25日(木)	あるいてみる飛ノ台周辺の遺跡・史跡	飛ノ台史跡公園博物館 海神公民館	市内の遺跡・史跡など
5月27日(土)	バスで訪ねる博物館見学会	飛ノ台史跡公園博物館	北区飛鳥山博物館など（予定）
6月24日(土)	地域史講座 「村の古文書を求めて」 (仮)	郷土資料館 薬円台公民館	薬円台公民館 (船橋市薬円台5-18-1)
6月17日(土)～ 7月9日(日)	市制80周年記念写真展	郷土資料館 飛ノ台史跡公園博物館	飛ノ台史跡公園博物館 1階ギャラリー
7月23日(日)～ 9月3日(日)	第17回縄文コンテンポラリー展	飛ノ台史跡公園博物館 縄文コンテンポラリー 展実行委員会	飛ノ台史跡公園博物館
8月9日(水)	夏休み歴史見学会	郷土資料館	佐倉市立美術館など（予定）
8月～9月	写真展「津田沼の今昔写真展 PartⅣ」	郷土資料館 東部公民館	東部公民館 (船橋市前原西2-21-21)

詳細は『広報ふなばし』でお知らせいたします。
都合により、日程・内容が変更になる場合があります。

郷土資料館 (現在休館中)

受付時間 午前9時～午後5時

休 業 日 土曜・日曜・
祝日及び年末年始

住 所 船橋市薬円台4-25-19

事務室は飛ノ台史跡公園博物館に移転しています。

電 話 047-465-9680

F A X 047-467-1399

Eメール kyodo@city.funabashi.lg.jp

飛ノ台史跡公園博物館

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

入 館 料 一般100円 (団体20名以上70円)
児童生徒50円 (団体20名以上30円)
市内在住中学生以下 無料

住 所 船橋市海神4-27-2

電 話 047-495-1325

F A X 047-435-7450

Eメール tobinodai@city.funabashi.lg.jp

交通案内

新京成電鉄 習志野駅下車 徒歩10分

JR津田沼駅北口から
習志野新京成バス「高津団地中央」「北
習志野駅」行き、または、ちばレイン
ボーバス「八千代緑が丘駅」「船尾車
庫」「JR木下駅」行き
「郷土資料館」下車徒歩1分



交通案内

東武アーバンパークライン (野田線)
新船橋駅下車 徒歩8分
京成線 海神駅下車 徒歩15分
東葉高速鉄道 東海神駅下車 徒歩12分

新京成バス
JR船橋駅北口から建鉄循環
「海神中学校前」下車 徒歩1分



ご利用案内・交通案内

休館日カレンダー

4月	5月	6月	7月	8月	9月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

□ は飛ノ台史跡公園博物館休館日 郷土資料館は平成30年1月(予定)まで休館致します。